

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月3日

上場会社名 尾家産業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 尾家 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 田仲 勇一郎

TEL 06-6375-0151

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	47,375	△4.6	485	△35.1	525	△28.8	371	△6.8
21年3月期第3四半期	49,662	—	747	—	737	—	398	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	40.12	—
21年3月期第3四半期	43.05	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第3四半期	24,560	—	10,368	—	42.2	1,120.77
21年3月期	22,943	—	10,136	—	44.2	1,095.57

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 10,368百万円 21年3月期 10,136百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
22年3月期	—	9.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,500	5.0	650	△19.4	700	△9.8	330	△18.1	35.67

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4.その他」をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4.その他」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	9,255,000株	21年3月期	9,255,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	3,457株	21年3月期	3,135株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	9,251,718株	21年3月期第3四半期	9,252,218株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記、業績予想につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の我が国経済は、前四半期に続き不況の影響による企業収益等の低迷により大変厳しい経済環境が続いております。

特に当社事業活動の中心であります外食産業界におきましては、雇用不安、可処分所得の減少による消費マインドの冷え込みに加え、低価格化、内食化がより一層進行し、外食離れが進む中、新型インフルエンザによる出控えがこれに追い打ちをかけ、極めて厳しい状況で推移しております。

秋の観光シーズンは、週末の高速料金引き下げ効果によりサービスエリア、観光地、テーマパーク等一部の業種、地域は恩恵を受けましたが、外食業界全体としての貢献度は低調に推移いたしました。また、年末の忘年会需要も盛り上がりには欠けました。

このような市場環境の中、当社は8月から9月にかけて全国14会場で開催しました「秋・冬提案会」（テーマは『団楽応援』）を通じて、新商品や秋冬向けメニュー提案を行い、ご来店のお客様にも高い評価を頂きました。

メニュー導入も全社一丸となって推進しました結果、多くのお客様に採用を頂きました。また、11月から12月末にかけて、主要仕入先様のご協力を得て、第3回大感謝セールを実施し、お客様に日頃の御礼として利益還元をいたしました。

自社ブランド商品政策として、10月に当社では初めて「創業者 尾家百彦」の名前を冠した芋・麦焼酎「百彦」を新発売いたしました。

当社ホームページ上で「百彦」を導入されたお客様を紹介する「百彦百研企画」を展開し、販売促進をいたしました。また、新しい食文化提案の一環として、「年明けうどん」を採り上げ全国に案内をいたしました。

営業拠点政策としましては、10月に名古屋支店を新設移転し、11月には大阪府摂津市内に大阪支店と北大阪営業所を統合し大阪支店とし、新たな物流拠点として大阪北部センターを2010年3月に稼働いたします。また、2010年2月竣工を目指して大阪市北区に新本社の建設を進めております。拠点数は、当第3四半期末現在、全国47事業所とサンプラザ3店合計50ヶ所体制となっております。

11月に開設いたしました大阪支店の新規取得有形固定資産は、大阪市の収用に伴う代替資産の取得であります。そのため、当第3四半期会計期間におきまして収用補償金8億40百万円を特別利益に計上し、固定資産圧縮損を特別損失として6億21百万円計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高473億75百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益4億85百万円（前年同期比35.1%減）、経常利益5億25百万円（前年同期比28.8%減）、四半期純利益3億71百万円（前年同期比6.8%減）と減収減益となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は245億60百万円となり、前事業年度末と比較して16億16百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金が19億16百万円減少したこと、売掛金及び受取手形が15億72百万円増加したこと、商品及び製品が8億2百万円増加したことおよび建設仮勘定等の有形固定資産が10億16百万円増加したことによります。

負債は、141億91百万円となり、前事業年度末と比較して13億83百万円増加いたしました。

主な要因は、支払手形及び買掛金が19億2百万円増加したこと、未払金が2億57百万円増加したこと、収用関係仮受金が8億40百万円減少したことおよび賞与引当金が1億67百万円減少したことによります。

純資産は、103億68百万円となり、前事業年度末と比較して2億32百万円増加いたしました。

主な要因は、繰越利益剰余金が2億4百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末より29億16百万円減少して、22億71百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の営業活動による資金収支は、59百万円の支出となりました。

これは、税引前四半期純利益が7億円と仕入債務の増加が19億2百万円に対し、売上債権の減少が15億72百万円、たな卸資産の増加が8億2百万円、法人税等の支払が3億74百万円であったことが主たる要因であります。前年同期と比較、支出が4億13百万円減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の投資活動による資金収支は、26億33百万円の支出となりました。

これは、定期預金の預入による支出が10億円と有形固定資産の取得による支出が14億21百万円であったことが主たる要因であります。前年同期の87百万円の収入に対し、26億33百万円の支出になっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の財務活動による資金収支は、2億23百万円の支出となりました。

これは、配当金の支払が1億66百万円とリース債務の返済による支出が56百万円であったことが主たる要因であります。前年同期と比べ、支出が56百万円増加しております。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,271,006	5,187,357
受取手形及び売掛金	8,389,492	6,816,764
有価証券	121,748	—
商品及び製品	2,440,623	1,638,157
繰延税金資産	72,489	162,497
未収入金	459,107	463,233
その他	86,998	62,195
貸倒引当金	△24,255	△19,814
流動資産合計	14,817,209	14,310,392
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,941,522	1,780,478
減価償却累計額	△775,842	△734,458
建物(純額)	1,165,679	1,046,019
建物附属設備	2,158,136	2,068,080
減価償却累計額	△1,422,390	△1,413,828
建物附属設備(純額)	735,746	654,251
構築物	152,496	126,864
減価償却累計額	△95,599	△92,949
構築物(純額)	56,896	33,915
機械及び装置	171,106	163,303
減価償却累計額	△125,650	△117,661
機械及び装置(純額)	45,456	45,641
車両運搬具	275,697	92,875
減価償却累計額	△39,666	△16,119
車両運搬具(純額)	236,031	76,755
工具、器具及び備品	450,286	465,604
減価償却累計額	△321,077	△290,982
工具、器具及び備品(純額)	129,208	174,622
土地	3,303,725	3,303,805
建設仮勘定	1,023,760	345,129
有形固定資産合計	6,696,505	5,680,141
無形固定資産		
商標権	—	19
ソフトウェア	91,989	94,182
電話加入権	26,614	26,614
施設利用権	779	855
無形固定資産合計	119,383	121,671

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	641,333	581,788
差入保証金	1,262,026	1,228,908
会員権	51,740	61,240
保険積立金	113,637	107,833
長期預金	500,000	500,000
破産更生債権等	11,435	26,780
繰延税金資産	403,677	382,383
その他	13,402	12,787
貸倒引当金	△69,601	△69,946
投資その他の資産合計	2,927,650	2,831,775
固定資産合計	9,743,539	8,633,588
資産合計	24,560,749	22,943,980
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,133,734	8,230,746
リース債務	83,005	46,974
未払金	388,541	131,461
未払費用	771,012	743,650
未払法人税等	109,933	208,296
賞与引当金	100,000	267,439
役員賞与引当金	—	6,200
収用関係仮受金	936,616	1,777,283
その他	85,051	16,394
流動負債合計	12,607,895	11,428,445
固定負債		
リース債務	274,450	183,577
退職給付引当金	911,902	835,532
役員退職慰労引当金	208,809	197,781
その他	188,745	162,533
固定負債合計	1,583,906	1,379,424
負債合計	14,191,801	12,807,869

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305,700	1,305,700
資本剰余金	1,233,690	1,233,690
資本準備金	1,233,690	1,233,690
利益剰余金	7,735,463	7,530,792
利益準備金	154,131	154,131
その他利益剰余金	7,581,332	7,376,661
任意積立金	4,600,000	4,600,000
繰越利益剰余金	2,981,332	2,776,661
自己株式	△2,730	△2,468
株主資本合計	10,272,123	10,067,714
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96,824	68,396
評価・換算差額等合計	96,824	68,396
純資産合計	10,368,947	10,136,111
負債純資産合計	24,560,749	22,943,980

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	49,662,351	47,375,168
売上原価	41,590,649	39,466,155
商品期首たな卸高	1,721,597	1,638,157
当期商品仕入高	42,232,753	40,268,621
商品期末たな卸高	2,363,701	2,440,623
売上総利益	8,071,702	7,909,013
販売費及び一般管理費	7,324,269	7,423,579
営業利益	747,432	485,433
営業外収益		
受取利息	12,827	10,171
有価証券利息	1,145	1,074
受取配当金	6,179	7,318
受取賃貸料	24,603	25,458
雑収入	20,192	16,970
営業外収益合計	64,948	60,993
営業外費用		
支払利息	—	6,654
複合金融商品評価損	73,203	13,996
雑損失	1,319	247
営業外費用合計	74,523	20,899
経常利益	737,858	525,527
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,208
関係会社清算益	10,940	—
貸倒引当金戻入額	24,395	—
収用補償金	—	840,667
特別利益合計	35,335	843,875
特別損失		
固定資産除却損	2,559	4,791
固定資産圧縮損	—	621,469
投資有価証券評価損	6,373	10,703
店舗閉鎖損失	—	30,847
事務所解体費用	36,141	—
その他	—	975
特別損失合計	45,074	668,787
税引前四半期純利益	728,119	700,614
法人税、住民税及び事業税	258,177	276,579
法人税等調整額	71,623	52,832
法人税等合計	329,800	329,412
四半期純利益	398,318	371,202

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	728,119	700,614
減価償却費	163,541	230,733
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△49,307	4,096
賞与引当金の増減額(△は減少)	△119,548	△167,439
退職給付引当金の増減額(△は減少)	51,307	76,369
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11,325	11,028
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,200	△6,200
受取利息及び受取配当金	△20,152	△18,564
支払利息	—	6,654
複合金融商品評価損益(△は益)	73,203	13,996
有形固定資産除却損	2,559	4,791
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,208
投資有価証券評価損益(△は益)	6,373	10,703
関係会社清算損益(△は益)	△10,940	—
収用補償金	—	△840,667
固定資産圧縮損	—	621,469
売上債権の増減額(△は増加)	△1,948,177	△1,572,727
たな卸資産の増減額(△は増加)	△642,104	△802,466
その他の流動資産の増減額(△は増加)	119,402	46,197
差入保証金の増減額(△は増加)	△6,719	△6,971
破産更生債権等の増減額(△は増加)	41,326	15,345
仕入債務の増減額(△は減少)	1,377,355	1,902,988
未払金の増減額(△は減少)	21,772	40,767
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,224	△101,916
未払費用の増減額(△は減少)	47,596	27,362
その他の流動負債の増減額(△は減少)	15,756	68,324
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△18,784	26,211
その他	—	15,986
小計	△180,720	303,481
利息及び配当金の受取額	19,115	18,373
利息の支払額	—	△6,654
法人税等の支払額	△311,562	△374,610
営業活動によるキャッシュ・フロー	△473,167	△59,409

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,000,000
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有価証券の償還による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△130,999	△1,421,161
無形固定資産の取得による支出	△31,065	—
投資有価証券の取得による支出	△8,563	△90,998
投資有価証券の売却による収入	—	32,518
関係会社の整理による収入	35,440	—
敷金及び保証金の差入による支出	△124,411	△100,685
敷金及び保証金の回収による収入	33,477	51,337
会員権の売却による収入	20,500	2,250
保険積立金の積立による支出	△6,107	△5,803
その他	△654	△865
投資活動によるキャッシュ・フロー	87,617	△2,633,409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△250	△262
リース債務の返済による支出	—	△56,487
配当金の支払額	△166,604	△166,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,854	△223,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△552,405	△2,916,351
現金及び現金同等物の期首残高	5,775,080	5,187,357
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,222,675	2,271,006

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。